

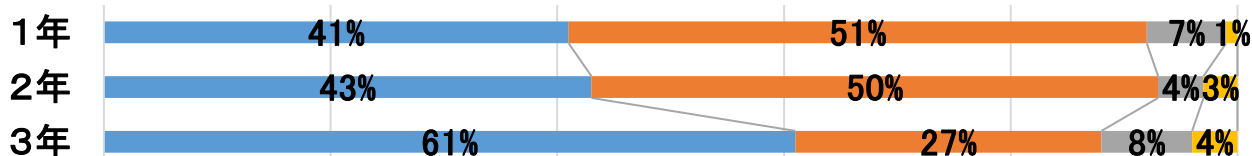
第1学期のアクションプランの取組について

アクションプラン1 問題(課題)解決の意識の持続・向上を図るための学習方法の工夫【個別最適な学習】

アクションプラン1のキーワードは「個別最適な学習」です。生徒が、問題(課題)解決の意識の持続・向上を図るための学習方法の工夫を重点課題としています。具体的には、①活動に見通しをもち、生徒一人一人が自己調整しながら学習を進めるための工夫、②学習を通して、身に付いたことを自覚したり、自己の学び方を振り返ったりする場面の設定、③生徒が意欲的に家庭学習に取り組めるための工夫です。

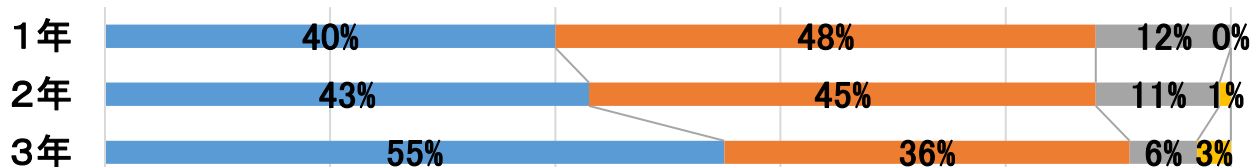
私は、授業の中で、問題や課題の解決に向けて、自分で考え工夫しながら学習に取り組むことができたと思う。

■当てはまる ■どちらかといえば当てあまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない



私は、家庭学習や週末課題に対し、目標をもち、意欲的に取り組むことができたと思う。

■当てはまる ■どちらかといえば当てあまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない



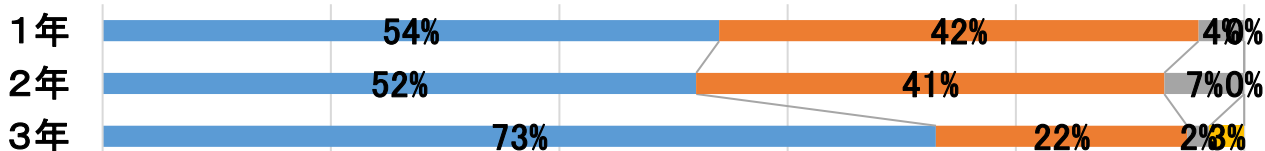
「授業の中で、問題や課題の解決に向けて、自分で考え工夫しながら学習に取り組むことができた」と回答した生徒は、1年92%、2年93%、3年89%、「家庭学習や週末課題に対し、目標をもち、意欲的に取り組むことができた」と回答した生徒は、1年88%、2年88%、3年91%と、いずれも肯定的な回答が得られました。2学期以降も、生徒が主体的に考え工夫しながら学習に取り組める課題や、学習者用端末を効果的に活用した課題を取り入れるなど、学習意欲の向上につながる授業づくりや課題設定に努めていきます。

アクションプラン2 さまざまな人との関わりを通して、生徒が自らの内面を自覚し、調整する関わり方の工夫【自分と向き合う】

アクションプラン2のキーワードは「自分と向き合う」です。生徒がさまざまな人との関わりを通して自分自身と向き合い、意識的に行動を調整するための工夫を重点課題としています。具体的には、①授業や諸活動での関わり合いの場の設定、②学級活動や部活動、学校行事等において、生徒が主体となった企画・運営、③具体的な目標の設定、自己評価の習慣化、自己決定の機会の充実です。

私は、様々な人との関わりを通して、自分の行動を振り返り、必要に応じて行動を改善することができたと思う。

■当てはまる ■どちらかといえば当てあまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない



「様々な人との関わりを通して、自分の行動を振り返り、必要に応じて行動を改善することができた」と回答している生徒は、1年96%、2年93%、3年95%でした。自由記述にも「話し合い活動で、相手の意見を最後まで聞いてから発言することを心掛けた」、「先生や友達からアドバイスをもらい合唱練習を重ねていくうちに、どんどん上手くなっていったことが嬉しかった」など、人と関わり合い、自らを見つめ、改善してすることができたという声がありました。今後も、協働的な活動を充実させ、仲間との関わりを通して自己を見つめ、よりよい行動につなげる力の育成を目指します。